

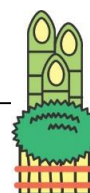
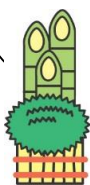


鹿屋市

No.24
2019年1月発行



ファミリー・サポート・センターだより



暖かな日差しとともに新年がスタートしました。

昨年も、会員の皆様方のあたたかい支えにより、子育てのお手伝いをさせて頂くことができました。会員の皆様おひとりおひとりに感謝の気持ちでいっぱいです。本年も、一人でも多くの会員の皆様の優しい目と、笑顔で子どもたちの成長を見守っていただけるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、会員さん同士こころ和むたくさんの出会いがありますように、職員一同努力してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

全体交流会



“音楽で楽しくコミュニケーションをとりましょう♪”

平成30年9月21日(金)社会福祉会館にて開催
講師 日本音楽療法学会 認定音楽療法士
坂中 慈子先生



平成30年度の 全体交流会は こんなことをしました(=^・^=)

♥音楽で楽しくコミュニケーションをとりましょう

歌ったり♪



手遊びを
したり...



会員さん同士
パンパン!!

～音楽をとおして子どもたちと一緒に、からだや脳を使い、笑い、楽しみ、そして和やかにふれ合いました～

♥体験発表(平原さんと桑木野さん)



～皆さん真剣に聞いてくれて感謝です<_>～

♥グループで情報交換



子育ての悩みや気になる事、
話が尽きないですね！

◆利用会員さんの体験発表



平原さん

初めてファミリーサポートセンターを利用した時のこと、1時間という短時間でしたが、自分以外のことに注意や意識を向けずに過ごせる時間が久しぶりというワクワクな感情と、子どもに対してなんだか申し訳ないという負い目を持ったのを覚えています。その話をサポート会員さんにすると、「家事育児には休みはないし、リフレッシュすることで子どもに笑顔になれるんだからお互いに良いことなのよ。」と仰ってください、甘えても良いのだと思えるようになりました。片付けた側から散らかり進まない家事、思い通りにいかない育児にイライラしてしまうこともありましたが、自分の時間を時々持つだけで、子どもに対して精神的に穏やかでいられる日が多くなりました。地域に子育てのフォローをしてくださる方の存在ができたことで心の余裕ができました。

◆サポート会員さんの体験発表

働きながら子育てを頑張るお母さんや、かつての私のように困っている娘世代の方、子どもたちのために何かしたいと思っている時、ファミリー・サポート・センターの活動を知りました。私にできるか不安もありました。初めての活動は出産後の食事のサポートでした。そして現在は、学童から英会話教室までの送迎のサポートを行っています。最初は人見知りをしていただけのおとなしい男の子でした。今では慣れてくれてCDを聞いて歌ったりお話もよくしてくれます。笑顔が幼く無邪気にお話をしてくれ毎週会えるのがとても楽しみです。共働きをされているご両親に、安心して任せて頂けるよう安全に気を付けて活動していこうと思います。これからいろいろな出会いを大切に頑張っていこうと思います。



桑木野さん

手紙 ～親愛なる子供たちへ～

作詞 不詳
訳詞 角 智織
日本語補詞 樋口 了一
作曲 樋口 了一

年老いた私がある日 今までの私と 違っていたとしても
どうかそのままの 私のことを 理解して欲しい
私が服の上に 食べ物をこぼしても 靴ひもを結び忘れても
あなたにいろいろなことを 教えたように 見守ってほしい

あなたと話すとき 同じ話を何度も何度も 繰り返しても
その結末を どうかさえぎらずに うなずいて欲しい
あなたにせがまれて 繰り返し読んだ絵本の あたたかな結末は
いつも同じでも 私の心を 平和にしてくれた

悲しいことではないんだ 消えて去って行くように 見える私の心へと
励ましの まなざしを 向けてほしい

楽しいひと時に 私が思わず下着を濡らしてしまったり
お風呂に入るのをいやがる時には 思い出してほしい
あなたを追い回し 何度も着替えさせたり 様々な理由をつけて
いやがるあなたと お風呂に入った 懐かしい日のことを

悲しいことではないんだ 旅立ちの前の準備をしている私に
祝福の祈りを捧げてほしい

いずれ歯も弱り 飲み込むことさえ 出来なくなるかも知れない
足も衰えて 立ち上がる事すら 出来なくなったら
あなたが か弱い足で 立ち上がろうと 私に助けを求めたように
よろめく私に どうかあなたの 手を握らせてほしい

私の姿を見て 悲しんだり 自分が無力だと 思わないで欲しい
あなたを抱きしめる力が ないのを知るのは つらい事だけど
私を理解して支えてくれる心だけを 持っていて欲しい

きっとそれだけで それだけで 私には勇気が わいてくるのです
あなたの人生の始まりに 私がしっかりと付き添ったように
私の人生の終わりに 少しでも付き添って欲しい

あなたが生まれてくれたことで 私が受けた多くの喜びと
あなたに対する変わらぬ愛を 持って笑顔で答えたい

私の子供たちへ
愛する子供たちへ



センターからのお願い

♥会員のみなさまへ

・住所、連絡先の変更や、出産情報(赤ちゃんの名前や生年月日など)は、必ずセンターにお知らせください。

♥利用会員さんへ

・サポート会員さんへ援助をお願いしたら、センターへ連絡してください。(無届の場合は、保険の対象になりません。)

♥サポート会員さんへ

・活動報告書は、翌月の5日までの提出となっております。ご協力をお願いします。

*ファミリー・サポート・センターだよりの内容について、ご要望やご意見がありましたらお知らせください。



お知らせ

ご注意ください!

・お引越などで、センターからの文書が宛先不明で返ってきたり、連絡がとれない場合は、退会処理をさせていただきます。

・子どもさんが産まれても、センターに登録がないとサポートの対象とならない場合がありますので、必ずセンターにご連絡ください。

・登録された子どもさんが小学校を卒業(子どもさんに障がいがある場合は18歳まで)された方は、退会の手続きをさせて頂いております。

今年度最後の講習会です(=^・^=)



お知合いの方にお知らせください。

会員になるための講習会を開催します
♥託児もあります♥

日時:平成31年2月17日(日)
9:30~12:00(利用会員)
9:30~16:00(サポート会員・両方会)

場所:リナシティかのや(2階) 情報研修室

*必ずお電話でお申込みください。

TEL 44-2277

内容がよくわからない(真)ので...という方もお気軽にお問合せくださいね(=^・^=)



【問合せ先】

社会福祉法人 鹿屋市社会福祉協議会 (鹿屋市ファミリー・サポート・センター事務局)

〒893-0009

鹿屋市大手町1番1号 リナシティかのや 2F 鹿屋市市民交流センター 福祉プラザ内

電話: (0994)44-2277 FAX (0994)44-7757

Eメール: fami-suppo@kanoyasyakyou.jp

センター開設時間 9:00~17:00/月~金 (土日・祝日・年末年始は休み)